

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
関係法規・制度	講義	必修	1	2年	水 曜日	～
講座名	授業担当者	実務経験				
関係法規	中尾	美容室経営、美容学校管理職				

授業概要

社会人となって必要となる身近な法律を中心に学習していく。

達成目標

社会生活に必要な法律に気付けるようになる。

授業計画

回	単元名	内容
第1回	5月10日	法の知識 身近な法律①(引っ越し、残業、ジェンダーハラスメント、出産)
第2回	5月17日	契約の関連法規(民法、消費者基本法、消費者契約法、特定商取引法)
第3回	5月24日	契約の関連法規②(割賦販売法 身近な法律②(SNS誹謗中傷、DV、ストーカー、相続)
第4回	5月31日	中間試験対策
第5回	6月14日	クレーム 損害賠償請求 宿題:カネボウ化粧品白班損害事件について、美容に関する裁判いづれか
第6回	6月21日	景品表示法 薬機法・医師法・禁止表示 景品類
第7回	6月28日	個人情報保護法
第8回	7月5日	期末試験対策

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(60点満点)、出席状況等の評価点(20点満点)、授業態度等の評価点(20点満点)を総合した得点について。

使用教材

テキスト：タイトル「」著者「」出版社「」

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
関係法規・制度	講義	必修	1	2年	水 曜日	～
講座名	授業担当者	実務経験				
関係法規	中尾	美容室経営、美容学校管理職				

授業概要

社会人となって必要となる法律を中心に学習していく。

達成目標

社会生活に必要な法律に気付けるようになる。

授業計画

回	単元名	内容
第9回	10月4日	会社法/商法
第10回	10月11日	会社法①
第11回	10月18日	会社法②
第12回	10月25日	中間試験対策
第13回	11月8日	商法①
第14回	11月15日	商法②
第15回	11月22日	悪徳商法
第16回	11月29日	期末試験対策

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(60点満点)、出席状況等の評価点(20点満点)、授業態度等の評価点(20点満点)を総合した得点について。

使用教材

テキスト：タイトル「」著者「」出版社「」

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
衛生管理	講義	必修	1	1年	水曜日	～
講座名	授業担当者	実務経験				
消毒法	吉松・石渡・新田	薬剤師				

授業概要

理・美容の業務と消毒との関係及び消毒に関連ある美容師法関係法令等を学ぶ

達成目標

1年生:定期試験に合格する事、
2年生:定期試験に合格する事。3月の学科国家試験に合格する事。

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回		1章 消毒総論	消毒とは、消毒の意義、理・美容の業務と消毒との関係(消毒に関連ある美容師法関係法令)
第2回		1回目復習2章 消毒法各論	消毒を怠った場合の危険性と理容師・美容師の責任、消毒法と適用上の注意、理学的消毒法
第3回		2回目復習2章 消毒法各論	化学的消毒法、すぐれた消毒法とその実施上の注意、理・美容器具類の消毒法、
第4回		3回目復習3章 消毒法実習	消毒法実習
第5回		演習問題	過去問使用の計算問題 1年生5回授業
第6回		全体の復習1回目	受験に向けての復習
第7回		全体の復習2回目演習問題	受験に向けての復習
第8回		演習問題	受験に向けての復習

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前

授業後

評価方法 中間・期末試験による評価

使用教材

衛生管理の教科書

テキストタイトル「 」著者「 」出版社「 」

用具：必要に応じて指示します。

オフィス

その他

曜日

： ～

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯
衛生管理	講義	必修	2	2年	水曜日～
講座名	授業担当者		実務経験		
感染症	川本・大出		歯科医師、薬剤師		

授業概要

感染症の知識の習得

達成目標

美容師が安全で良質なサービスを提供できるよう感染症について正しい知識を習得する

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回	第1章	1節	感染症総論 人と感染症について
第2回	第1章	2節	感染症総論 病原微生物について
第3回	第1章	3節	感染症総論 感染症の予防
第4回	第1章		第1章 1～3節の復習・演習(演習を通し習得度確認)
第5回	第2章	1節 2節	感染症各論 理容業・美容業と感染症 主な感染症
第6回	第2章	3節	感染症各論 具体的な対策の例
第7回	第2章		第2章 1～3節の復習・演習(演習を通し習得度確認)
第8回			前期試験に向けて復習及び演習(演習を通し習得度確認)

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。
--

使用教材

テキスト：タイトル「香粧品化学」著者〔 〕出版社〔 〕
用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯
衛生管理	講義	必修	2	2年	水曜日～
講座名	授業担当者		実務経験		
感染症	川本・大出		歯科医師、薬剤師		

授業概要

感染症の知識の習得

達成目標

美容師が安全で良質なサービスを提供できるよう感染症について正しい知識を習得する

授業計画

回	日付	単元名	内容
第9回		1章	第1章 1～3節の復習・演習(演習を通し習得度確認)
第10回		1章	第2章 1～3節の復習・演習(演習を通し習得度確認)
第11回		2章	全体を通して復習及び演習
第12回		3章	後期試験に向けて復習及び演習(演習を通し習得度確認)
第13回			復習(第1章)
第14回			復習(第2章)
第15回			復習(第3章)
第16回			復習

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。
--

使用教材

テキスト：タイトル「 著者〔 〕出版社〔 〕
用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯
保健	講義	必修	2	1年	水 曜日 時限
講座名	授業担当者		実務経験		
人体	新田		薬剤師		

授業概要

化粧品を安全かつ適正に扱うための知識を学ぶ

達成目標

化粧品検定試験に興味を持ち、資格取得に役立つ知識を身につける

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回			皮膚の構造(表皮)
第2回			皮膚の構造(真皮)
第3回			皮膚の機能
第4回			試験演習問題 (10/3.4.5前半試験)
第5回			肌タイプと見分け方・悩み・ニキビ
第6回			肌の悩み・毛穴・シミ・くすみ・くま・しわ・たるみ
第 7回			試験演習問題 (11/7.8.9前半期末)
第8回			環境と女性ホルモン

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「」著者「」出版社「」

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー

その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯
保健	演習	必修	2	1年	水 曜日 時限
講座名	授業担当者		実務経験		
人体	新田		薬剤師		

授業概要

人体の構造・整理機能・医薬品に関する基礎を学ぶ

達成目標

登録販売者に興味を持ち、資格取得に役立つ知識を身につける

授業計画

回	日付	単元名	内容
第9回			人体の働きと医薬品・消化器系
第10回			消化器系
第11回			呼吸器系 (12/11.12.13 後半試験)
第12回			循環器系
第13回			血液
第14回			泌尿器系
第15回			感覚器 (2/13.14.15 後半期末)
第16回			皮膚・骨格

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「」著者「」出版社「」

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー

その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
保健	講義	必修	1	2年	水曜日	～
講座名	授業担当者		実務経験			
皮膚科学	吉松・石渡		薬剤師			

授業概要

皮膚の構造とその基本的な働きについて

達成目標

美容従事者となる為、国家試験に必要な皮膚の構造、名称、働きについて理解する

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回		1章	皮膚の構造(表皮、真皮、皮下組織)皮膚の部位差について
第2回		2章	皮膚付属器官(毛、立毛筋、脂腺、汗腺、爪)の構造と働き
第3回		3章	皮膚の循環器系と神経について
第4回			前回までの復習と演習問題
第5回		4章	皮膚の生理機能(対外保護作用、体温調節、知覚作用)
第6回		5章	皮膚と皮膚付属器官の保健(皮膚と全身状態、精神、栄養、ホルモン、手入れ)
第7回		6章	皮膚の異常とその種類
第8回			前回までの復習と演習問題

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：必要に応じて準備学習の指示及び資料の配布

授業後：資料の見直し

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、実技試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「保健 授業関連のプリント配」著者〔 〕出版社〔 〕

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー 其他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
保健	講義	必修	1	2年	水曜日	～
講座名	授業担当者		実務経験			
皮膚科学	吉松・石渡		薬剤師			

授業概要

皮膚の疾患について

達成目標

美容従事者として必要な基本的な皮膚の疾患について理解する

授業計画

回	日付	単元名	内容
第9回		6章	皮膚炎と湿疹
第10回		6章	皮膚疾患(色素異常、分泌異常)
第11回		6章	皮膚疾患(化膿菌、真菌、ウイルスによっておこるもの)
第12回			復習と演習問題
第 回			
第 回			
第 回			
第 回			

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：必要に応じて準備学習の指示及び資料の配布

授業後：資料の見直し

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、実技試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「保健 授業関連のプリント配」著者〔 〕出版社〔 〕

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー 其他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
化粧品化学	講義	必修	2	2年	水曜日	～
講義名	授業担当者		実務経験			
化粧品化学	篠崎功		化粧品プロデュース会社経営			

授業概要

化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的などを学ぶ

達成目標

化粧品を扱うプロとしての知識を身に付ける

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回		1章	化粧品総論
第2回		2章	化粧品の使用による症状
第3回		2章	化粧品の定義と法規制 化粧品の安全性と安定性
第4回		3章	化粧品の成り立ち 水と親水性溶媒
第5回		3章	油性原料
第6回		3章	界面活性剤 高分子化合物
第7回		3章	色材 香料
第8回		3章	製品を安定させる配合成分 その他の機能性配合原料 雑貨原料

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「化粧品化学」著者〔 〕出版社〔 〕

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
化粧品化学	講義	必修	2	2年	水曜日	～
講義名	授業担当者		実務経験			
化粧品化学	篠崎功		化粧品プロデュース会社経営			

授業概要

化粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的などを学ぶ

達成目標

化粧品を扱うプロとしての知識を身に付ける

授業計画

回	日付	単元名	内容
第9回		1章	化粧品の効果と使用プロセス クレンジング用化粧品 コンディショニング化粧品
第10回		1章	トリートメント用化粧品
第11回		2章	メイクアップ用化粧品
第12回		3章	ヘアクレンジング用化粧品 ヘアコンディショニング用化粧品 ヘアスタイリング料
第13回		3章	パーマ剤
第14回		3章	ヘアカラー剤 スキャルプケア製品
第15回			問題演習
第16回			復習

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「」著者〔 〕出版社〔 〕

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2023年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
文化論	演習	必修	1	1年・前期	水 曜日	～
講座名	授業担当者		実務経験			
デッサン	福地・浦山		デザイナー			

授業概要

美術解剖学を基本に人体骨格全身と部分のプロポーションを理解し、二次元表現を学ぶ。また文化論テキストにある髪型資料を用い、ロールプレイング形式でコンサルティングデッサン学習を行う。

達成目標

比率及びバランスと美の関わりについての理解を深め、形態を正確に把握、平面表現できる。文化論に学ぶ歴史上の様々なヘアスタイルを応用し、より豊かな美容表現能力を習得する。

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回		デッサン①	デッサン実習1-1 人体立位 プロポーション考察 解説と展開 デッサン実習2-1 頭部のプロポーション考察 解説と展開
第2回		デッサン②	デッサン実習1-2 人体立位 プロポーション考察 まとめと提出 デッサン実習2-1 頭部のプロポーション考察 まとめと提出
第3回		デッサン③	デッサン演習1-1 人体立位 モデルによる素描 解説と展開 デッサン演習2-1 コンサルティングスケッチ 解説と展開
第4回		デッサン④	デッサン演習1-2 人体立位 モデルによる素描 まとめと提出 デッサン演習2-2 コンサルティングスケッチ まとめと提出
第 回			
第 回			
第 回			
第 回			

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「 」著者「 」出版社「 」

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
文化論	講義	必修	1	1年・後期	水 曜日	～
講座名	授業担当者		実務経験			
ファッション文化史西洋編	福地・浦山		デザイナー			

授業概要

西洋文化史における美容についての近代から現代までの変遷を学ぶ

達成目標

国家試験合格レベルに到達する、時代ごとの社会背景と髪型・化粧・服装の具体的な事柄についての知識の習得

授業計画

回	日付	単元名	内容
第1回		第8節～第10節	第8節 近代I概要 ～ 第10節 現代I化粧
第2回		第10節～第12節	第10節 現代I服装 ～ 第12節 現代III服装
第3回		第13節～第14節	第13節 現代IV概要 ～ 第14節 現代V服装
第4回		第14節～第15節	第14節 現代V服装 ～ 第16節 現代VII
第 回			
第 回			
第 回			
第 回			

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「 」著者「 」出版社「 」

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

曜日	
：	～

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯 時限
文化論	講義	必修	1	2年	火 曜日 ～
講座名	授業担当者		実務経験		
文化論(日本編)	岡崎		元美容学校管理職		

授業概要
古代から現代に至る日本の髪型、化粧、服装について学ぶことで、職業人に必要な化粧文化の知識を習得する。

達成目標
美容の職業人として必要な基礎知識を習得する。日本の化粧文化史を広く理解することで、伝統的な髪型や化粧が理解できる。

授業計画			
回	単元名		内容
第1回		古代	日本のファッション文化史:古代の髪型・化粧・服装
第2回		中世	日本のファッション文化史:中世の髪型・化粧・服装
第3回		近世	日本のファッション文化史:近世Ⅰ(戦国・安土桃山時代)の髪型・化粧・服装
第4回		近世	日本のファッション文化史:近世Ⅱ(江戸時代)の髪型・化粧・服装
第5回		近代	日本のファッション文化史:近代(明治・大正)の髪型・化粧・服装
第6回		近代	日本のファッション文化史:近代(昭和)の髪型・化粧・服装
第7回		現代	日本のファッション文化史:現代の髪型
第8回		現代	日本のファッション文化史:現代の化粧・服装

授業前の準備・予習および授業後の復習
授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法
評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材
テキスト：タイトル「文化論」教科書 著者〔 〕出版社〔 〕
用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー	その他
曜日 :0 ～	

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯 時限
文化論	講義	必修	1	2年	火 曜日 ～
講座名	授業担当者		実務経験		
文化論(日本編)	岡崎		元美容学校管理職		

授業概要
古代から現代に至る日本の髪型、化粧、服装について学ぶことで、職業人に必要な化粧文化の知識を習得する。

達成目標
美容の職業人として必要な基礎知識を習得する。日本の化粧文化史を広く理解することで、伝統的な髪型や化粧が理解できる。

授業計画			
回	単元名		内容
第9回		礼装	和装の礼装・洋装の礼装
第10回		近代	日本のファッション文化史演習:近代(明治・大正)の髪型・化粧・服装
第11回		近代	日本のファッション文化史演習:近代(昭和)の髪型・化粧・服装
第12回		現代	日本のファッション文化史演習(現代Ⅰ、Ⅱ):現代の髪型・化粧・服装
第13回		現代	日本のファッション文化史演習(現代Ⅲ、Ⅳ):現代の髪型・化粧・服装
第14回			傾向と対策
第15回			傾向と対策
第16回			傾向と対策

授業前の準備・予習および授業後の復習
授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布
授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法
評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材
テキスト：タイトル「 」著者〔 〕出版社〔 〕
用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー	その他
曜日 :0 ～	

2025年度 年間授業計画

科目名 運営管理	授業形態 講義	履修区分 必修	単位数 1	履修時期 前期	開講時間帯 火曜日 ～ 時限
講座名 接客マナー	授業担当者 眞野 聖子		実務経験 元航空会社勤務(乗務職・教官職・管理職)		

授業概要

社会人としての基本である人とのコミュニケーションの第一歩を接客・接客のマナーから学ぶ。技術のスキルと同じく非常に重要なマナーとして理解し、実践へ繋げる。相手(お客様、同級生や関わる方全て)が心地よいと感じるものであり、双方向コミュニケーションである。

達成目標

- ①接客と接客の違いを把握する ②接客マナーの5原則を意識しなくともできるように身に付ける
③ホスピタリティ(お互いに共創する、嬉しいを共有する)の実践

授業計画

回	単元名	内容
第1回	接客と接客	知識:「おもてなし接客」概要(必要性、目的、接客と接客の違い) 接客マナーの5原則、ホスピタリティとサービス
第2回	接客マナーの5原則	知識&実技「接客マナーの5原則」 (1)表情(笑顔、アイコンタクト)〈第一印象、好感、非言語表現〉
第3回	接客マナーの5原則	知識&実技「接客マナーの5原則」 (2)言葉遣い①(尊敬語、謙譲語、丁寧語)(3)挨拶(正しい立ち方、姿勢を含む)
第4回	接客マナーの5原則	知識&実技「接客マナーの5原則」 (4)身だしなみ(マナーブック)(5)立ち居振る舞い①(所作、歩き方、座り方)
第5回	接客マナーの5原則	知識&実技「接客マナーの5原則」 (2)言葉遣い②(クッション言葉他)(5)立ち居振る舞い②(ロールプレイ)
第6回	接客マナーの5原則	総合演習(ロールプレイ)、接客マナーの5原則(定着度確認)
第7回	マナー	マナー応用編、電話対応、名刺交換
第8回	接客と接客	講義:顧客満足度とおもてなし 総括:第6回のフィードバック(個人)、レポート作成

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前:・準備学習(自主トレーニング等)及び資料配布 ・ミラー(メイクアップ用)、割り箸、名刺(自作)
授業後:・毎回 自主トレーニング課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト:資料配布のみ(授業担当者持参)
用具:テレビモニター 他

オフィスアワー その他

曜日 : ～	
--------------	--

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
美容実習	実習	選択	5	3年	水 曜日	～
講座名	授業担当者		実務経験			
ヘア実習	堀口		美容室勤務			

授業概要

サロンで生かせる美容理論、技術を実践的な視点で学ぶ。

達成目標

美容従事者として、お客様に支持されるための心構えと必要な知識、技術、コミュニケーション力を習得しましょう。実習では、相モデルを通じて、ケアをメインに入客・担当できるスキル(知識や技術)の習得を目指す。

授業計画

回	単元名	内容
第1回	ヘアケア知識	シャンプー技術チェック
第2回	ヘアケア知識	シャンプー、トリートメント
第3回	ヘッドスパ	ヘッドスパ(相モデル)
第4回	ヘッドスパ	ヘッドスパ(相モデル)
第5回	頭皮ケア ブロードドライ	ヘア頭皮ケアとブロードドライ
第6回	サロン導線	シャンプー、スパ技術チェック
第7回	カラー	カラー
第8回	パーマ	パーマ

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「文化論」教科書 著者〔 〕出版社〔 〕

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

：●	曜日 ～	
----	---------	--

2025年度 年間授業計画

科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯	時限
美容実習	実習	選択	5	3年	水 曜日	～
講座名	授業担当者		実務経験			
ヘア実習	堀口		美容室勤務			

授業概要

サロンで生かせる美容理論、技術を実践的な視点で学ぶ。

達成目標

美容従事者として、お客様に支持されるための心構えと必要な知識、技術、コミュニケーション力を習得しましょう。実習では、相モデルを通じて、ケアをメインに入客・担当できるスキル(知識や技術)の習得を目指す。

授業計画

回	単元名	内容
第9回	パーマ	縮毛矯正
第10回	美容師のキャリア	美容師のキャリアについて
第11回	カット	カット技術チェック
第12回	カット	カット基本
第13回	スタイルデザイン	シャンプー＆ヘアアレンジ
第14回	スタイルデザイン	シャンプー＆スタイリング
第15回	振り返り	小テスト
第16回	振り返り	テスト

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前：・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後：・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2/3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト：タイトル「文化論」教科書 著者〔 〕出版社〔 〕

用具：必要に応じて指示します。

オフィスアワー その他

：0	曜日 ～	
----	---------	--

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯 時限
美容技術理論	講義	必修	2	1年	曜日 ～
講座名	授業担当者		実務経験		
美容日本語	岩田		美容室勤務		

授業概要

美容技術理論で学ぶ述語(漢字)の意味等を学ぶ。

達成目標

美容技術理論で学ぶ述語(漢字)の意味等を理解する。

授業計画

回	単元名	内容
第1回		「美容技術理論」のp9「力の配分と姿勢まで」の内容を学ぶ。
第2回		p10「人体各部の名称」からp17「美容器具」までの内容を学ぶ。
第3回		p18「コーム」からp21「ブラシ」までの内容を学ぶ。
第4回		p22「シザース」からp25「レザー」までの内容を学ぶ。
第5回		p26「ピン類・ヘアクリップ」からp29「ヘアアイロン」までの内容を学ぶ。
第6回		「アイロンの名称」から「遠赤外線機器」までの内容を学ぶ。
第7回		p35「シャンプーイング」の内容を学ぶ。
第8回		p39「シャンプーイングの目的」の内容を学ぶ。

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト： 必要に応じて指示
用具：

オフィスアワー その他

曜日 ～	
---------	--

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯 時限
美容技術理論	講義	必修	2	1年	曜日 ～
講座名	授業担当者		実務経験		
美容日本語	岩田		美容室勤務		

授業概要

美容技術理論で学ぶ述語(漢字)の意味等を学ぶ。

達成目標

美容技術理論で学ぶ述語(漢字)の意味等を理解する。

授業計画

回	単元名	内容
第9回		シャンプーイング総論の復讐
第10回		「ブラッシング」の内容を学ぶ。
第11回		「サイドシャンプー」の内容を学ぶ。
第12回		「バックシャンプー」の内容を学ぶ。
第13回		復習漢字テスト(第1回)
第14回		復習漢字テスト(第2回)
第15回		復習漢字テスト(第3回)
第16回		復習漢字テスト(第4回)

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト： 必要に応じて指示
用具：

オフィスアワー その他

曜日 ～	
---------	--

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯 時限
美容実習	実習	必修	2	1年	曜日 ～
講座名 ヘア・エステ基礎	授業担当者 岩田		実務経験 美容室勤務		

授業概要

美容実習の中のヘアとエステティックの基礎を学ぶ。

達成目標

ヘアとエステの基礎的な知識と技能を習得する。

授業計画

回	単元名	内容
第1回	ヘッドスパ	ツボの位置、名称、役割を学ぶ。
第2回	エステ	ネイルとハンドマッサージを学ぶ。
第3回	ヘッドスパ	ウイッグとクランプの使用方法を学ぶ。
第4回	ヘッドスパ	ツボの位置、名称をウイッグを使用して学ぶ。
第5回	ヘッドスパ	ブロックごとに施術を確認する。
第6回	ヘアアレンジ	カテリーナブラシの使い方を、ポニーテール・三つ編み・フィッシュボーン・編み込みで学ぶ。
第7回	ヘアアレンジ	企画書と作品づくり
第8回	ヘアアレンジ	企画書に基づく作品づくり

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト： 必要に応じて指示
 用具：

オフィスアワー その他

曜日 ～	
---------	--

2025年度 年間授業計画					
科目名	授業形態	履修区分	単位数	履修時期	開講時間帯 時限
美容実習	実習	必修	2	1年	曜日 ～
講座名 ヘア・エステ基礎	授業担当者 岩田		実務経験 美容室勤務		

授業概要

美容実習の中のヘアとエステティックの基礎を学ぶ。

達成目標

ヘアとエステの基礎的な知識と技能を習得する。

授業計画

回	単元名	内容
第9回	ヘアアレンジ	企画書に基づく作品づくり、ヘアアレンジ実技テスト
第10回	ハンドマッサージ	消毒方法、ごみ袋の設置、クリーム塗布、マッサージの手順を学ぶ。
第11回	ハンドマッサージ	相モデルで手順の確認、スチームタオルの使用方法を学ぶ。
第12回	ハンドマッサージ	相モデルで手順を確認する。
第13回	ハンドマッサージ	ハンドマッサージ実技テスト。
第14回	エステ	タオルターバンの方法と、ハリウッドメソッド(1～3番)を学ぶ。
第15回	エステ	ハリウッドメソッド(4～6番)を学ぶ。
第16回	エステ	ハリウッドメソッド(1～6番)の実技テスト。

授業前の準備・予習および授業後の復習

授業前： ・必要に応じて準備学習の指示及び資料配布

授業後： ・必要に応じて課題の指示

評価方法

評価は、授業に2／3以上出席した者を対象として、試験の得点・提出物の評価点等の学習成績(70点満点)、出席状況等の評価点(15点満点)、授業態度等の評価点(15点満点)を総合した得点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

テキスト： 必要に応じて指示
 用具：

オフィスアワー その他

曜日 ～	
---------	--